

令和5年度の重点課題

- 新体力テストの総合評価のAB率47%、DE率21%である。（(AB-DE)率26%）
- 全体的に男女とも、「20mシャトルラン」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 男子は、「50m走」、「上体起こし」、「立ち幅跳び」が県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子は、「長座体前屈」、「立ち幅跳び」が県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 運動習慣に関するアンケートによると、運動スポーツの実施状況が、しないまたは月1～3日と回答する生徒の割合が、男子30.8%、女子で16%と、県平均より高く、運動をしない生徒の割合を減らしていく必要がある。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 全学年、同時期に体づくり運動の授業を行い、各々が新体力テストの結果をもとに、自身の体力における課題を知り、その改善に向けて運動プログラムを作成し、実施した。
- 持久力を向上させるため、体育授業の開始時にジョギングを行った。楽しみながら取り組めるように、生徒の好きな音楽をかける工夫を行った。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

| 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 持久走 | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 持久走 | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|------|--------|-------|-------|
| 第2学年 | 36.20 | 26.60 | 52.40 | 52.60 | 68.00 | | 7.88 | 198.80 | 21.80 | 47.75 | 第2学年 | 24.00 | 19.00 | 47.00 | 42.50 | 28.00 | | 9.20 | 168.50 | 12.00 | 41.50 |

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

| 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 持久走 | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 持久走 | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|------|--------|-------|-------|
| 第2学年 | 36.20 | 26.60 | 52.40 | 52.60 | 68.00 | | 7.88 | 198.80 | 21.80 | 47.75 | 第2学年 | 24.00 | 19.00 | 47.00 | 42.50 | 28.00 | | 9.20 | 168.50 | 12.00 | 41.50 |

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

| 男子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い | 女子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い |
|------|-------|-------|-------|------|------|------|-------|------|-------|
| 第2学年 | 60.00 | 20.00 | 20.00 | 0.00 | 第2学年 | 0.00 | 50.00 | 0.00 | 50.00 |

学校独自の意識調査

| |
|--|
| |
|--|

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動やスポーツをすることが好きと答える生徒の割合が80%である。(前年比5%↓)
 - ・学年が上がるにつれ、好きと答える生徒が減少傾向にある。
- 女子
 - ・運動やスポーツをすることが好きと答える生徒の割合が80%である。(前年比4%↓)

体力面での課題

- 男子
 - ・「立ち幅跳び」、「20mシャトルラン」、「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子
 - ・「反復横跳び」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅跳び」、「ハンドボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 全体
 - ・1日の活動時間が30分未満の生徒が20%である。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・全学年、同時期に体づくり運動の授業を行い、各々が新体力テストの結果をもとに、自身の体力における課題を知り、その改善に向けて楽しく体力を向上させる運動プログラムを作成する。それを、体育授業のウォーミングアップで実施したり、長期休暇の課題として実施させたりする。
- ・授業の開始時に本時で高めたい資質・能力を決め、その達成に向けた授業への取り組み方などの目標を立てる。また、立てた目標に対しての振り返りを行い、運動への取り組み方を振り返るとともに、次時への目標へとつなげる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・運動会の種目に、「大縄跳び」を追加する。紅白対抗で、どれだけ長く連続で跳べたかを競う。運動会までに繰り返し練習することで、敏捷性と全身持久力がしっかりと身に付くことをねらいとする。

令和7年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることが好きと答える生徒の割合を、85%以上にする。
- 「20mシャトルラン」を県平均値かつ全国平均値以上にする。